株主メモ

事業年度	毎年3月21日から翌年3月20日まで
定時株主総会	6月開催
基準日	定時株主総会　毎年3月20日 期末配当金　　毎年3月20日 中間配当金　　毎年9月20日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜4丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵送物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先	0120-782-031（フリーダイヤル）
URL	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告方法	当社の公告方法は電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.alinco.co.jp （ただし、事故その他やむをえない事由によって電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。）

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の「特別口座について」をご確認ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、三井住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設しております。上記お問い合わせ先にお願いいたします。

WEBサイトで最新情報を発信中

当社のホームページでは、企業情報、財務情報など様々な情報をご覧いただけます。最新ニュースを随時更新し、当社の事業状況を紹介しておりますので、ぜひ一度ご覧ください。

URL https://www.alinco.co.jp

この印刷物は、植物油インキを使用しています。

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

ALINCO REPORT

第50期中間報告書

2019年3月21日 〜 2019年9月20日

証券コード:5933

ニッチマーケットでトップ企業に

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに、第50期（2020年3月期）第2四半期の業績と今後の見通しについてご報告申し上げます。

取締役会長 井上 雄策　　代表取締役社長 小山 勝弘

<table>
<tr><td rowspan="5">第2四半期
連結業績
(2020年3月期)</td><td>売上高</td><td>283億99百万円</td></tr>
<tr><td>営業利益</td><td>20億20百万円</td></tr>
<tr><td>経常利益</td><td>21億51百万円</td></tr>
<tr><td>親会社株主に帰属する四半期純利益</td><td>13億03百万円</td></tr>
<tr><td>EBITDA</td><td>38億75百万円</td></tr>
</table>

(注) EBITDA = 経常利益 + 減価償却費 + のれん償却額

当社を取り巻く経営環境について

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の減速による外需の低迷で製造業が減速していることを示す指標が続き、景気の先行きには不透明感が増しています。

当社グループの主な関連業界である建設及び住宅関連業界におきましては、2020年に迫った東京オリンピック・パラリンピック関連の建設工事が終盤に差し掛かるなか、老朽化した社会インフラの改修・整備や首都圏並びに主要都市における再開発案件をはじめとして、引き続き堅調な建設需要が継続する見通しです。

当第2四半期の連結業績について

このような状況のなか、売上高は前年同期比8.4％増の283億99百万円となりました。

利益面では、売上高の増加によって、営業利益は前年同期比47.8％増の20億20百万円、経常利益は前年同期比29.7％増の21億51百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比31.2％増の13億３百万円となりました。

財務ハイライト

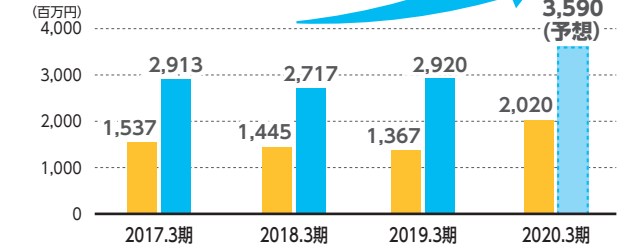
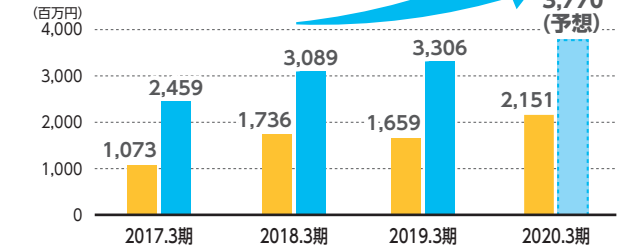
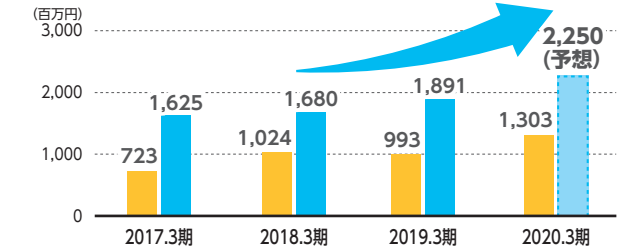
■ 第2四半期　■ 通期

売上高

営業利益

経常利益

EBITDA

(注) EBITDA = 経常利益 + 減価償却費 + のれん償却額

親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

2020年3月期の連結業績予想について

通期の業績予想につきましては、2019年10月4日付で東京証券取引所にて適時開示しました通り、最近の好調な業績推移を踏まえ、2019年5月8日付公表の期初業績予想を上方修正いたしました。

【修正の理由】
当社グループのコア事業である建設機材ならびにレンタル関連事業において、新型足場「アルバトロス」や高速道路補修工事向けの「SKパネル」を中心に、広範なジャンルにわたって販売が増加するとともに、期初からレンタル資産の稼働が好調を維持したことにより、当第2四半期の連結業績が、期初業績予想を上回ったことなどによります。なお、当第3四半期以降については、概ね期初予想通りに推移する見通しです。

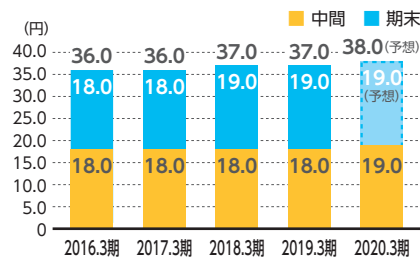
		修正後業績予想（2019年10月4日付）	＜増減額＞	期初業績予想（2019年5月8日付）
通期連結業績予想（2020年3月期）	売上高	573億80百万円（ 前期比6.5% ）	＋6億80百万円	567億円
	営業利益	35億90百万円（ 前期比22.9% ）	＋4億70百万円	31億20百万円
	経常利益	37億70百万円（ 前期比14.0% ）	＋4億20百万円	33億50百万円
	親会社株主に帰属する当期純利益	22億50百万円（ 前期比19.0% ）	＋2億60百万円	19億90百万円

配当方針

当社は株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして位置付けており、安定的な配当の維持を基本方針とし、配当性向30%以上を目安として配当を実施していくことを基本政策としておりましたが、より一層の株主還元を図るため、**配当性向40%を目標**として配当を行うことにしております。

また、自己株式の取得につきましては、株価や経営環境の変化に対する機動的な対応や資本政策及び株主の皆様に対する利益還元の一方法として、適宜その実施を検討してまいります。

内部留保金につきましては、中国・東南アジアへの海外投資や今後成長が見込める事業分野に積極的に投資を行い更なる企業価値の向上を図るとともに、競争優位性の維持に必要な財務基盤の安定にも配慮してまいります。

これらの方針に基づき、当期の中間配当金につきましては、1株当たり19円とさせていただきました。また、期末配当金につきましても、1株当たり19円を予定し、年間配当金は前期比1株当たり1円増配の38円を予定しております。

住宅機器

〈新製品〉ハンドマッサージャー ハンドイーズ MCR6019（フィットネス事業部）

毎日の手の疲れを癒してくれるハンドマッサージャーで、強弱を調節可能なエアーで指や手の平をしっかりもみほぐします。

ヒーター機能も搭載されているので、疲れた手をじんわり温めて心地よいマッサージが味わえます。

【特長】
①14層のエアーバッグが手をしっかりホールド
②エアー強度を2段階で調節可能
③ヒーター機能搭載
④2つのプログラムコースを搭載
⑤オートオフタイマー機能搭載

＜2色展開＞
＜使用イメージ＞

電子機器

〈新製品〉デジタル簡易無線登録局用 戸別受信機「XEAL30D」

大切な防災情報などをデジタル簡易無線のトランシーバーを放送局のマイク代わりに使って放送、それを受信する戸別受信機です。

町内会や工場のような小さなコミュニティでも簡単に防災無線システムを設置することができます。

【特長】
①AM/FMラジオ、特定小電力無線も受信可能
②特定小電力無線はトランシーバーとしても使用可能
③緊急放送は電源を切っていても最大音量で強制受信
④不在の時でも緊急放送を聞き逃さない自動録音機能
⑤設定はスマホアプリと無線クローンで手間いらず

建設機材関連事業

中高層建築現場で使用される仮設機材を通じて「効率」と「安全」を提供

複雑・多様化する建設現場において、作業者の安全と作業性をサポートする機材を取りそろえ、様々なニーズに最適な製品を提供しております。

総合物流保管機器で多様な物流保管ニーズに対応

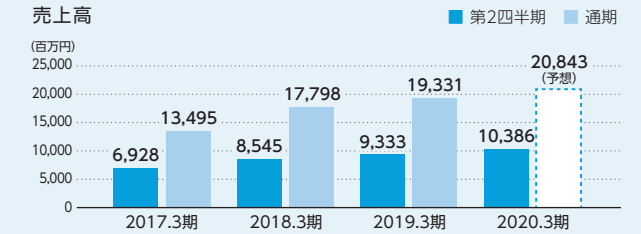
ユーザーの幅広い物流保管機能の要望に、商品企画からシステム設計までの充実した技術力により、幅広い保管機器を提供しております。

新型足場（アルバトロス）

アルミ朝顔

売上高 10,386百万円（前年同期比11.3%増）

当事業の売上高は、前年同期比11.3%増の103億86百万円となりました。建設用仮設機材の販売が新型足場「アルバトロス」や高速道路補修工事向けの「SKパネル」を中心に広範なジャンルにわたって増加しました。また、子会社の双福鋼器㈱の売上高も物流倉庫向けラックの販売が好調に推移しました。

損益面では、売上高の増加によって、セグメント利益は前年同期比17.6%増の13億50百万円となりました。

レンタル関連事業

独自のオクトシステムで住宅足場のシェアNo.1

低・中層建築向けに、当社独自開発のくさび緊結式足場（オクトシステム）の運搬・組立・解体までを一括して請け負うサービスを提供しております。

現場の声と対話するレンタル

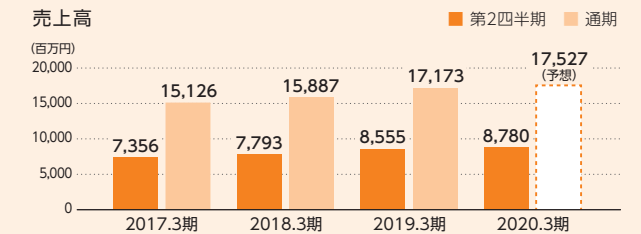
建築現場の環境や作業者の声に直接触れることを通して、製品開発とマーケットとの距離の短縮を図っております。

低層住宅向仮設足場（新オクトシステム）

中高層用仮設足場

売上高 8,780百万円（前年同期比2.6%増）

当事業の売上高は、前年同期比2.6%増の87億80百万円となりました。低層向けレンタルにおいてここ数年注力してきた非住宅分野での売上高が拡大するとともに、中高層用レンタルにおいては新型足場「アルバトロス」を中心に期初から高稼働が継続しました。

損益面では、レンタル資産の稼働率が期初から好調に推移したことなどから、セグメント利益は前年同期比187.3%増の５億円となりました。

住宅機器関連事業

くらしを創るプロのために「安全・快適・便利」を提供

工場や建築現場から家庭まで、幅広く作業する現場で必要とされる昇降器具、アルミ製梯子、脚立、三脚をはじめ関連製品などを提供しております。

健康から癒しへ現代人をサポート

家庭で手軽にできるエクササイズ製品を開発提供しております。

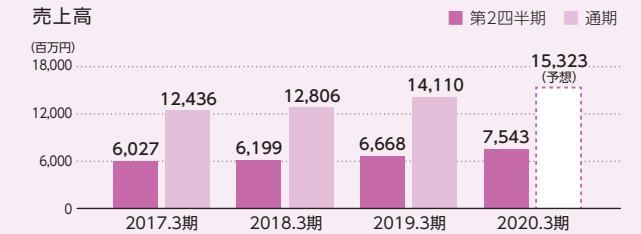
アルミ合金製脚立

フィットネスバイク

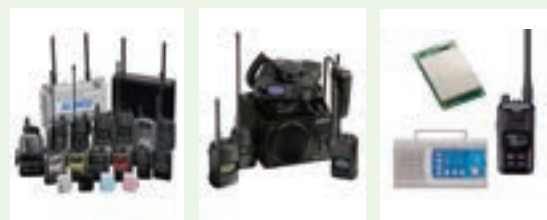
マッサージチェア

売上高 7,543百万円（前年同期比13.1%増）

当事業の売上高は、前年同期比13.1%増の75億43百万円となりました。子会社化した昭和ブリッジ販売㈱の売上高が業績に寄与したほか、アルミ製脚立の新製品「GAUDI」の好調な販売や、㈱シィップの高所作業台の販売が伸びたことによって、機械工具ルート向けの売上高が増加しました。また、フィットネス機器については、マッサージ関連の新商品が量販店や家電販売店を中心に好調であったほか、電動ランナーやジョギングマシンが通販やネット販売で好調に推移しました。

損益面では、売上高の増加によって、セグメント利益は前年同期比18.8%増の1億88百万円となりました。

電子機器関連事業

独自の先端技術で開発されたグローバルブランド「ALINCO」

業務用無線、デジタル無線に加えて、防災・消防無線やデータ通信モジュールなど、高い品質と技術が求められる分野において、多彩な製品群で常に最新のコミュニケーションツールを提供しております。

特定小電力無線機

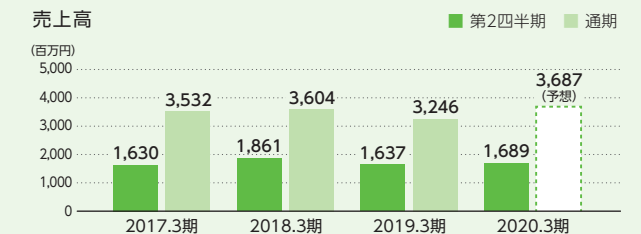
デジタル簡易無線機

防災・消防及びデータ通信関連

売上高 1,689百万円（前年同期比3.2%増）

当事業の売上高は、前年同期比3.2%増の16億89百万円となりました。業務用無線機や防災行政無線の拡販が進むとともに、当期に繰り延べとなっていた防災行政無線の受注案件は当第３四半期から納入が開始される見込みとなりました。

損益面では、売上高の増加によって、セグメント損失は前年同期比８百万円改善して28百万円となりました。

株主の皆様へ
トピックス
セグメント別概況
連結財務情報
会社情報
株式情報

四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

科目	前期末 2019年3月20日現在	当第2四半期末 2019年9月20日現在
（資産の部）		
1 流動資産	31,137	32,927
現金及び預金	4,379	4,974
受取手形及び売掛金	15,848	16,719
商品及び製品	7,027	7,340
仕掛品	1,062	1,010
原材料	2,047	2,173
その他	788	727
貸倒引当金	△ 15	△ 18
固定資産	22,802	23,022
有形固定資産	15,192	15,192
レンタル資産	4,733	4,863
建物及び構築物	4,102	3,992
機械装置及び運搬具	1,295	1,248
土地	4,852	4,862
その他	348	370
減損損失累計額	△ 140	△ 144
無形固定資産	1,382	1,264
投資その他の資産	6,227	6,565
投資有価証券	2,164	2,110
2 長期貸付金	824	1,198
退職給付に係る資産	2,076	2,113
繰延税金資産	185	167
その他	980	983
貸倒引当金	△ 3	△ 6
資産合計	53,940	55,950

科目	前期末 2019年3月20日現在	当第2四半期末 2019年9月20日現在
（負債の部）		
1 流動負債	16,123	17,089
支払手形及び買掛金	8,225	8,834
短期借入金	554	792
1年内返済予定の長期借入金	4,435	4,536
未払法人税等	757	762
賞与引当金	684	699
その他	1,465	1,465
固定負債	11,457	11,486
長期借入金	10,238	10,303
退職給付に係る負債	200	190
役員退職慰労引当金	186	186
繰延税金負債	438	431
その他	393	375
負債合計	27,580	28,576
（純資産の部）		
株主資本	24,969	25,913
資本金	6,361	6,361
資本剰余金	4,812	4,817
利益剰余金	14,704	15,631
自己株式	△ 909	△ 896
その他の包括利益累計額合計	598	574
その他有価証券評価差額金	328	287
繰延ヘッジ損益	13	23
為替換算調整勘定	214	245
退職給付に係る調整累計額	41	17
非支配株主持分	791	886
純資産合計	26,359	27,374
負債純資産合計	53,940	55,950

四半期連結損益計算書

（単位：百万円）

科目	前第2四半期 2018年3月21日から 2018年9月20日まで	当第2四半期 2019年3月21日から 2019年9月20日まで
売上高	26,195	28,399
売上原価	19,063	20,392
3 売上総利益	7,131	8,006
販売費及び一般管理費	5,764	5,986
営業利益	1,367	2,020
営業外収益	355	239
営業外費用	63	108
経常利益	1,659	2,151
特別利益	2	2
特別損失	20	1
税金等調整前四半期純利益	1,641	2,151
法人税、住民税及び事業税	590	717
法人税等調整額	△12	31
四半期純利益	1,062	1,403
非支配株主に帰属する四半期純利益	69	99
親会社株主に帰属する四半期純利益	993	1,303

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科目	前第2四半期 2018年3月21日から 2018年9月20日まで	当第2四半期 2019年3月21日から 2019年9月20日まで
4 営業活動によるキャッシュ・フロー	2,050	2,832
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,019	△2,309
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,676	3
現金及び現金同等物に係る換算差額	△49	13
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△341	540
現金及び現金同等物の期首残高	4,981	4,344
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	23	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,663	4,884

POINT 1
建設関連事業や住宅関連事業における販売が好調に推移し、積極的に生産高の増加を図ったことから、運転資金の規模が拡大し、売掛金やたな卸資産、買掛金が増加しました。

POINT 2
海外の関連会社の業績拡大にともない、レンタル資産への投資が増加しており、貸付金が増加しました。

POINT 3
レンタル関連事業における機材の稼働が期初から高水準で継続したことなどから、売上総利益率が前年同期比１ポイント改善し、売上高増加による増収効果が大きくなりました。

POINT 4
四半期純利益が増加したことによって営業活動によるキャッシュ・フローが増加しました。また、M&Aによる支出が減少したことなどから投資活動によるキャッシュ・フローは減少しました。

株主の皆様へ
トピックス
セグメント別概況
連結財務情報
会社情報
株式情報

会社情報 ／ Company Information

会社概要

社名	アルインコ株式会社
英文社名	ALINCO INCORPORATED
本店	大阪府高槻市三島江 1丁目1番1号
大阪本社	大阪市中央区高麗橋 4丁目4番9号
東京本社	東京都中央区日本橋 2丁目3番4号
創業年月	1938年9月
設立年月日	1970年7月4日
資本金	63億6,159万円
上場市場	東京証券取引所市場第一部
証券コード	5933
従業員数	(連結) 1,358名 (単体)　718名

役員 (2019年9月20日現在)

取締役会長	井上　雄策	
代表取締役社長	小山　勝弘	
専務取締役	加藤　晴朗	建設機材事業部・仮設リース事業部・生産本部担当
常務取締役	前川　信幸	住宅機器事業部長
常務取締役	小林　宣夫	管理本部長
取締役	楠原　和広	電子事業部長
取締役	岡本　昌敏	建設機材事業部長
取締役	三浦　直行	住宅機器事業部副事業部長
取締役	小嶋　博隆	オクト事業部長
取締役	坂口　豪志	海外建材事業部長兼財務部長
取締役	西岡　俊浩	フィットネス事業部長
社外取締役	梨和　信	
取締役※	家塚　昭年	
社外取締役※	野村　公平	弁護士
社外取締役※	勘場　義明	公認会計士

注）※は監査等委員であります。

執行役員 (2019年9月20日現在)

執行役員	山本　和弘	建設機材事業部副事業部長 兼第二営業部長兼業務部長
執行役員	平　謙二	生産本部長
執行役員	佐倉　広太郎	海外建材事業部副事業部長 兼ALINCO SCAFFOLDING (THAILAND) CO.,LTD. 取締役社長 兼SIAM ALINCO CO.,LTD. 取締役社長
執行役員	松井　正典	ALINCO (THAILAND) CO.,LTD. 取締役社長
執行役員	川上　義広	管理本部総務部長

連結子会社（国内８社、海外６社）

会社名	主要な事業内容	
アルインコ富山株式会社	電子機器の組立・加工請負	
東京仮設ビルト株式会社	足場の架払工事請負	
株式会社光モール	アルミ型材・樹脂モール材の販売	
オリエンタル機材株式会社	建設用仮設機材の販売・レンタル	
株式会社シィップ	据置式昇降作業台の製造・販売及びレンタル	
エス・ティ・エス株式会社	測量機器、レーザー機器等の企画開発・製造ならびに販売	
双福鋼器株式会社	物流保管設備機器(ラック)・鋼製床材の製造・販売	
昭和ブリッジ販売株式会社	アルミ製ブリッジ、各種台車、折りたたみリヤカー等の製造・販売	
蘇州アルインコ金属製品有限公司	金属製品及び関連製品の開発・製造ならびに販売	(中華人民共和国)
アルインコ建設機材レンタル(蘇州)有限公司	建設用仮設機材の販売・レンタル	(中華人民共和国)
ALINCO (THAILAND) CO.,LTD.	建設用仮設機材の製造・販売	(タイ王国)
ALINCO SCAFFOLDING (THAILAND) CO.,LTD.	建設用仮設機材の販売・レンタル及び輸出入	(タイ王国)
SIAM ALINCO CO.,LTD.	投資及び人材派遣	(タイ王国)
PT. ALINCO RENTAL INDONESIA	不動産開発・管理	(インドネシア共和国)

株式情報 ／ Stock Information

株式に関する情報 (2019年9月20日現在)

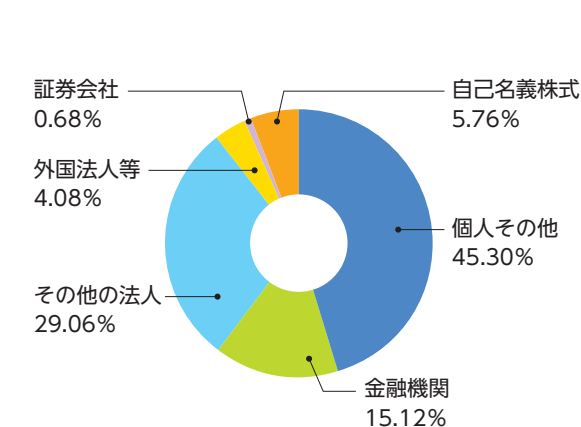
発行可能株式総数	発行済株式数	うち自己株式数	株主数
35,200,000株	21,039,326株	1,211,416株	6,514名

大株主の状況（上位10名）

2019年9月20日現在

株主名	株式数(千株)	持株比率(%)
アルメイト㈱	3,153	15.91
アルインコ共栄会	1,283	6.47
日本マスタートラスト信託銀行㈱	781	3.94
アルインコ従業員持株会	601	3.03
井上雄策	595	3.00
井上敬策	574	2.90
㈱アクトワンヤマイチ	536	2.71
日本トラスティ・サービス信託銀行㈱	516	2.60
㈱関西みらい銀行	451	2.27
阪和興業㈱	316	1.60

(注) 1.　持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2.　持株比率は、自己株式を控除して計算しております。
3.　当社は自己株式1,211,416株を所有しておりますが、上記の表には含めておりません。

株式分布状況 (2019年9月20日現在)

株主優待について（毎年3月20日現在の当社株主名簿に記載された株主様を対象としております）

保有株式数	株主様への株主優待制度			
500株以上　1,000株未満	3年未満保有	1,000円分の商品券	3年以上継続保有	2,000円分の商品券
1,000株以上　5,000株未満	3年未満保有	2,000円分の商品券	3年以上継続保有	3,000円分の商品券
5,000株以上　10,000株未満	3年未満保有	4,000円分の商品券	3年以上継続保有	5,000円分の商品券
10,000株以上	3年未満保有	6,000円分の商品券	3年以上継続保有	8,000円分の商品券

上記の商品券は三井住友カードの「VJAギフトカード」となります。